

育てよう

鏡野のよい子シリーズ



「香北という自然の中で」

「先生、お願いします！」そう言って、子どもたちが横二列に並び、私に丁寧に頭を下げました。

これが私の今年一番の、印象に残った出来事です。子どもたちは、イモリを飼う許可を得るために、お願いの仕方を相談して私のところに来たのです。イモリは、「自分たちで責任を持って世話をする」という約束で、教室で飼うことになりました。

私には、香北に来て初めて見た虫や植物がたくさんあります。イモリもその一つです。教室で飼うことになったイモリは、今までに見たことがない色をしていました。そこで、子どもたちに聞いてみると「アカハライモリって言うんで」と教えてくれました。私より、子どもたちの方がとても自然に詳しくて驚きました。

自然の中で育った香北の子どもたちは、外での活動が大好きです。以前、クラブ活動の時に行った裏山探検では、裏山を歩いて生き物を捕まえたり、山から湧き出る水や生き物、植物、木の実などを採ったり捕まえたりしました。子どもたちが自分から自然に触れ、観

察する活動を行うことができる環境が身近にあるということは素敵だと思います。

また、夏には、地域の方々の協力による「川遊びの会」というものがあります。そこでは、つかみ取りをしたヒラメを焼いて食べたり、お手製のウォータースライダーをしたりして、川遊びを楽しみます。ヒラメのつかみ取りでは、苦戦する私をしり目に、子どもたちがどんどん捕まえに行くたくましい姿に驚かされました。子どもたちが、お家の方や地域の方と一緒に生き生きとした表情で川遊びをする姿からは、香北の自然や人とのつながり、子どもたちを守る地域の方々の姿を感じることができました。

香北には、たくさんの方がいます。どこでも声をかけ、温かく見守って下さる地域の方々がいます。そうした中で、子どもたちには喜びと感謝の気持ちを感じながら、ますます大きく成長して欲しいと思います。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

香北小学校 西尾 萌香

のびのびひろば

ひなまつり会をしたよ!

3月3日はひなまつり。芳野こども園の子どもたちは、「元気に大きくなりますように。」という願いを込めて、それぞれの年齢で工夫をこらしたおひなさまを作りました。

当日のひなまつり会は、みんなの思いが込められたおひなさまに囲まれて、新型コロナウイルス感染症の予防対策をしながら歌を歌ったり、パネルシアターを見たりして楽しく過ごしました。

これからも病気をしないで元気に過ごせますように。



おひなさまと一緒に
ハイ、チーズ!!



「おひなさまはだあれ」
のパネルシアター
を見たよ

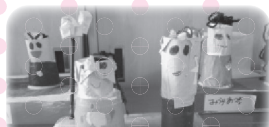
ひなまつりには、
ちらしずしを
食べるんだよ!



〈3歳児〉
紙粘土と絵具を混ぜて体を作ったよ



〈4歳児〉
紙粘土を丸めたり、のりを使ったりして作ったよ!



〈5歳児〉
廃材から自分で選んで、ハサミやのり、折り紙を使って自分だけのおひなさまを作りました。



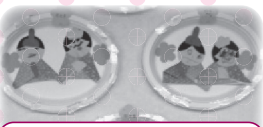
(芳野こども園)



〈0歳児〉
花紙を丸めて、袋に詰めて体を作ったりシールを貼ったりして作ったよ。



〈1歳児〉
クレヨンで顔を描いたり、飾りを貼ったりしたよ。



〈2歳児〉
はさみを使って飾りを切って貼ったよ。

